

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東大阪市長田西2丁目マンション	階数	地上10F
建設地	大阪府東大阪市長田西二丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	63人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2022年6月15日
敷地面積	410㎡	作成者	長岡 博之
建築面積	248㎡	確認日	2022年6月15日
延床面積	2,113㎡	確認者	長岡 博之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	96%
③上記+②以外の	96%
④上記+	96%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.4
温熱環境	2.2
光・視環境	4.0
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	3.1
耐用性	2.9
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.7
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	3.0
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.1
地域環境	2.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他	
Q1 室内環境 外皮性能の確保、音環境や音環境、シックハウス性能等 全体的な性能を向上	Q2 サービス性能 耐用年数の長い材料の使用	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー LED照明器具の使用	LR2 資源・マテリアル 環境に配慮した材料や有害物質を含まない材料の利用	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の抑制

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0041

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)東大阪市長田西2丁目マンション新築工事							
	建設地	東大阪市長田西二丁目							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+					
①	CO2削減			3					
②	みどり・ヒート アイランド対策			2					
③	建物の断熱性			3					
④	エネルギー削減			4					
⑤	自然エネルギー直接利用			—					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.7	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		